



# 展覧会関連プログラム

「没後110年 日本画の革命児 今村紫紅」展関連

## ノンキ 暢気に描け！ 合作絵巻—重野克明とめぐる今村紫紅の世界 1

● 重野 克明 (美術家) ● 内山 淳子 (当館主任学芸員)

「暢気に描け。芸術に理窟はいらない。何事にも拘束されず、自由に、快活に自己の絵を描け」——。今村紫紅が絵描き仲間へ伝えた言葉です。この言葉が示す通り、紫紅の作品には伝統を吸収しながらもその型にとらわれない自由奔放な個性が発揮されています。

このプログラムでは、展覧会担当学芸員のナビゲートのもと、美術家・重野克明さんの視点を通して紫紅の表現世界と一緒に味わいます。後半では、今村紫紅、横山大観、下村観山、小杉未醒の四人が旅路で合作した《東海道五十三次絵巻》※に倣い、参加者全員で一巻の「絵巻づくり」に挑戦します。伝統と革新が交差する、紫紅の創作の軌跡をたどってみませんか。

※《東海道五十三次絵巻》紙本着色 全9巻のうち第2巻を展示、大正4年(1915)、東京国立博物館所蔵(展示期間：4/25～6/3)

日程=5/24 ①【1回】 締切5/7 時間=13:30-16:30

定員=15名(2名申込み可) 参加費=ひとり3,000円(材料費込、本展観覧券付)



重野克明《みんな描いている》2026年



撮影：栗原諒

重野 克明 しげの・かつあき

1975年千葉県生まれ。2003年東京藝術大学大学院修士課程美術研究科版画専攻修了。銅版画を中心に、水墨画、油彩画、陶芸、手製本を制作、発表している。その他、挿画、装丁画、舞台美術など多方面で活躍。日本橋高島屋美術画廊X、77gallery、ア・ライトハウス・カナタでの個展をはじめ、「THE HEADLINERS 2025—爆誕！セラミック・スーパーノヴァ」(茨城県陶芸美術館)などの展覧会にも出品している。  
<https://www.instagram.com/shigeno31>

## ● 横浜美術館の展覧会

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

[企画展]

### 没後110年 日本画の革命児 今村紫紅

2026年4月25日(土)ー6月28日(日)

休館日=木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

鮮やかな色彩と伸びやかな構図、たくみな筆づかいで、新しい日本画を志した画家・今村紫紅の大規模な回顧展。35年の生涯を力強く駆け抜けた紫紅の創作の軌跡を、約180点の作品でたどります。国指定重要文化財の《熱國之巻》や《近江八景》(いずれも期間限定展示)のほか、初公開の作品も数多く出品されます。

今村紫紅《護花鈴》(図は六曲屏風一雙の部分) 明治44年(1911) 霊友会妙一コレクション所蔵(展示期間：4月25日～5月8日)



[コレクション展]

### みる風景、かんがえる風景

2026年4月25日(土)ー6月28日(日)

休館日=木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

「今村紫紅」展に関連し、風景をテーマに構成します。風景画に強烈な個性を発揮した紫紅の制作にみられるように、芸術家たちは独創的な風景を描き写してきました。風景に何をみて、かんがえ、表現してきたのか、19世紀から現代にいたる作品を紹介しながらたどります。「ハイライト」では、ダリやピカソらの作品を展示します。



ポール・セザンヌ《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》1892-95年

[アーティストとひらく]

### 鎌田友介展：ある想像力、ふたつの土地

2026年4月25日(土)ー6月28日(日)

休館日=木曜日(ただし4月30日と5月7日は開館)

鎌田友介はこれまで韓国、台湾、アメリカ、ブラジルなど日本国内外に建てられた日本家屋について調査し、社会や文化の複雑さを浮かびあがらせる作品を発表してきました。本展では、横浜市本牧にある三溪園の創設者で、近代日本画家の支援者でもあった実業家の原三溪にまつわるインスタレーションを発表します。



鎌田友介「ある想像力、ふたつの土地」のためのイメージ

[企画展]

### マリー・アントワネット・スタイル

2026年8月1日(土)ー11月23日(日)

休館日=木曜日

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット。王妃の装いやインテリアは、ファッションから映画まで、広く影響を与えてきました。18世紀に王妃がつくりあげた「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

フランソワ=ユベール・ドルーエ《コートドレスのマリー・アントワネット》1773年  
ヴィクトリア&アルバート博物館所蔵  
©Victoria and Albert Museum, London



# 市民のアトリエへようこそ

市民のアトリエには、版画室、平面室、立体室という充実した設備を持つ部屋があり、様々な創作活動を体験することができます。  
12歳以上の方ならどなたでもお申込みいただけます。(一部プログラムをのぞく)

お申込みは  
ウェブサイトから  
詳しくは裏面をご覧ください

## アートとふれあう

アーティストや専門家、当館エドゥケーターととりくむプログラムです。

### 市民のアトリエ体験ワークショップ - テラコッタとスクリーンプリント 2

桜庭 瑠実、木下 貴博、柳川 文秀 (当館エドゥケーター)

市民のアトリエを施設見学と創作体験を通してご紹介するプログラムです。素焼きの焼き物であるテラコッタ制作とスクリーンプリントの刷り体験をします。テラコッタ制作では粘土で自由につくったオブジェをアトリエ内の陶芸窯で焼成します。版画の一技法であるスクリーンプリントでは、手描きの絵や文字を小さな布袋に刷ります。いくつもの機能を持つ市民のアトリエならではの楽しみ方をご提案します。

Aコース 8/2、8/30 @ [2回] 締切7/16

時間=13:30-16:30 定員=16名(2名申込み可) 参加費=ひとり3,000円(材料費、焼成費込)



市民のアトリエ

### 横浜美術館 コレクション関連

#### クロチェッティ作《平和の若い騎手》を テラコッタで学ぶ 3

木下 貴博 (当館エドゥケーター)

イタリアを代表する彫刻家ヴェナンツォ・クロチェッティが平和を願って制作した《平和の若い騎手》(横浜美術館所蔵)という裸馬にまたがった青年のブロンズ像を直接観察し、資料も参考にしてテラコッタ粘土で自分が選んだ箇所を部分模刻をします。その後、粘土を乾燥させ美術館の窯で素焼きのテラコッタ像にします。粘土は10kgまで使用可ですが、自分に合った作りやすい大きさで制作します。



屋外展示されている《平和の若い騎手》

日程=5/23 @・24 @・30 @、6/27 @ [4回] 締切5/7

時間=13:30-16:00 最終日6/27のみ 14:00-15:30 定員=12名

参加費=9,500円(材料費、焼成費込)

### 知るともっと楽しい! 版画シリーズ②

#### 銅版画×インクの関係 6

渡辺 達正 (版画家) ● 崔 恩知 (版画家)

版画ができあがる過程には、もともになる版と様々な材料や道具が関わっています。シリーズ2回目は、版から紙へとイメージを写し出す「インク」に注目します。レクチャーで版画に用いるインクの特徴と扱い方、また日本における開発の歴史などをご紹介します。その後、銅版画技法「メゾチント」を講師が特別に調合したインクを使って制作します。版から広がるインク特有の色の深みや、豊かな発色を体験しましょう。  
※あらかじめ目立てた銅版を使います。



版とインク  
[表紙] 銅版画インク色見本

日程=5/31、6/7・14・21・28 @ [5回] 締切5/8

時間=13:30-16:00 定員=14名

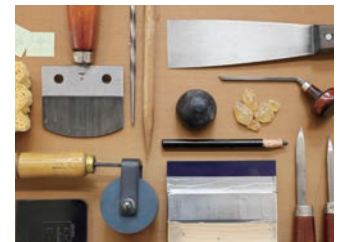
参加費=19,000円(材料費込)

### 版画体験コース 4 5

インストラクター

● 赤本 啓護 / 銅版画担当 ● 岩淵 華林 / スクリーンプリント担当  
● 横尾 拓郎 / リトグラフ担当

市民のアトリエの版画室では、プレス機などの専門的な機材を使って銅版画やスクリーンプリント、リトグラフの制作をすることができます。このコースでは、いずれか一つの版種を選択して基礎的な工程を体験します(申込は複数版種可)。インストラクターは、版を用いた表現により作品を制作しているアーティストと一緒に体験をしながら版画の見方や考え方に触れてみてください。



4 Aコース 5/30、6/6・13・20・27 @ [5回] 締切5/8

5 Bコース 9/26、10/3・10・17・24 @ [5回] 締切9/3

●各コース

時間=10:10-12:30

定員=銅版画6名、スクリーンプリント4名、リトグラフ3名

参加費=15,000円(材料費込)

### 額縁からのぞく美術館 7

● 末永 史尚 (美術家)

“絵画”を鑑賞する時、その周囲を彩る“額縁”をじっくり眺めたことはありませんか? 額縁は、作品世界と現実世界をつなぐ不思議な「装置」です。今回のプログラムでは、いつもは見過ごされがちな額縁にスポットを当て、現代美術家・末永史尚さんの創作のまなざしに迫ります。当館コレクション作品の額縁をダンボールキットで再現。そのプロセスを通じて作家の思考に触れ、展示空間や鑑賞のあり方に潜む新しい可能性を探ります。



末永史尚《ピクチャーフレーム》2020年  
アクリル、顔料、金泥、綿布、木製パネル  
51.3×41.8×5.5cm

日程=9/27 @ [1回] 締切9/7

時間=10:30-16:00(昼休憩1時間含む)

参加費=ひとり3,000円(材料費込)

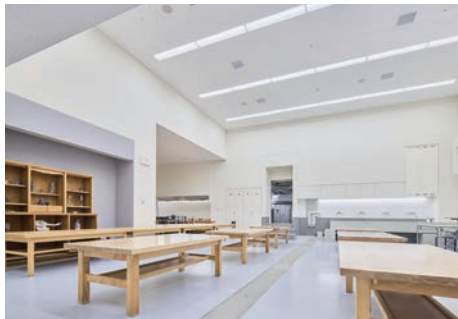
定員=12名(2名申込み可)

# オープスタジオ

オープスタジオは、参加するみなさんが自主的に制作にとりくむ時間です。各室でインストラクターやエドゥケーターなどスタッフが制作をサポートします。

## オープスタジオ立体室 8 9 10 11 12 13 14 15

木下 貴博 (当館エドゥケーター)



撮影：新津保建秀

粘土で制作して、美術館の窯で素焼きをする「テラコッタ」と、木を素材として立体制作をする「木彫」の2種類があります。どちらも立体室の道具をお貸しします。

「テラコッタ」は、コースによって使用できるテラコッタ用粘土の量が違います。

「木彫」は、初めての方も参加しやすい材料を用意してあるコースと、立体室でかつて木の作品や木彫等を制作された参加者で開催期間中に完成できなかった方で、自宅で続けて制作することが困難な方のための「木彫・継続」のコースがあります。

制作中の作品は立体室でお預かりします。基本的に自主制作ですが、初めての方や慣れていない方は、道具の使用、制作内容について担当エドゥケーターに相談しながら制作できます。

### 《テラコッタ》

- 8 Aコース (2キロ) 5/16 ⊕・17 ⊕、6/13 ⊕ [3回] 締切4/18
- 9 Bコース (5キロ) 6/16・23・30、7/21 ⊕ [4回] 締切5/18
- 10 Cコース (10キロ) 8/25、9/1・8・15・29、10/27 ⊕ [6回] 締切8/6

### ●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝Aコース 6,000円／Bコース8,000円／Cコース12,000円 (材料費、焼成費込)

### 《木彫》

- 11 Aコース 7/1・8・22、8/5・19、9/2・16 ⊕ [7回] 締切6/11
- 12 Bコース 10/10・17・24、11/7・14・28、12/12 ⊕ [7回] 締切9/17

### ●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝8名 参加費＝14,000円 (材料費込)  
※材料は楠、約4cm角で長さ25cmの角棒状のものや厚み4cm×15cm×15cm程度の板状や10cmから15cm程度のゴロンとした形の材料から初日に2つ選べます。

### 《木彫・継続》

- 13 Aコース 5/12・26、6/9 ⊕ [3回] 締切4/16
- 14 Bコース 5/31、6/14・28、7/12・26 ⊕ [5回] 締切5/14
- 15 Cコース 9/5・12・26 ⊕ [3回] 締切8/20

### ●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝Aコース 4,500円／Bコース7,500円／Cコース4,500円

※材料は含まれておりませんので、制作途中の作品をお持ちください。

## オープスタジオ平面室 16 17 18

柳川 文秀 (当館エドゥケーター)



撮影：新津保建秀

美術モデルを依頼して人体を描くコースと静物を描く2種類のコースがあります。どちらのコースも指導はありませんが、初めての方や慣れていない方は、スタッフにご相談ください。

「人体クロッキー」は、美術モデルを依頼して人体を描く時間です。5分、10分、20分などポーズ時間を変えて描きます。「静物デッサン」は、さまざまな形や質感のモチーフを組み合わせた静物をじっくり観察して描く時間です。

### 《人体クロッキー》

- 16 Aコース (着衣) 5/26、6/2・9・16 ⊕ [4回] 締切5/8
- 17 Bコース (着衣) 7/11・18・25、8/1 ⊕ [4回] 締切6/22

### ●各コース

時間＝13:30-16:00 定員＝16名 参加費＝8,000円

### 《静物デッサン》

- 18 Aコース 6/13・20 ⊕ [2回] 締切5/25

時間＝13:30-16:00 定員＝12名 参加費＝3,600円

※各コース、カルトン(画板)とイーゼルはお貸しします。紙と画材類は各自でお好きなものをお持ちください。(ただし油絵具は使えません。)

## オープスタジオ版画室 19 20

インストラクター

赤本 啓護 / 銅版画担当 ● 岩渕 華林 / スクリーンプリント担当 ● 横尾 拓郎 / リトグラフ担当 ● 桜庭 瑠実 (当館エドゥケーター)



撮影：新津保建秀

版画室の各種プレス機や刷り台を使って版画の制作を行うことのできる時間です。自分一人で機材を取り扱える方を対象とします。制作についての不安な点は、インストラクターやエドゥケーターにご相談いただけます。ご参加は一日単位となります。ご自身の制作ベースにあわせて希望日を選択の上、お申し込みください。また、予約がとれない場合は、キャンセル待ち予約をご利用ください。

※機材の取扱い未経験の方は、「版画体験コース」に参加してからお申し込みください。

- 期間 19 1期＝5/13～7/22の毎週水、土曜日 締切4/10  
20 2期＝9/5～10/24の毎週水、土曜日 (9/23は休み) 締切8/3

●時間 水曜日10:10-16:30 / 土曜日14:00-16:30

●定員 銅版画プレス機＝6名 / スクリーンプリント刷り台＝4名  
リトグラフプレス機＝3名 / 木版プレス機＝1名

●参加費 [水] 3,000円 / [土] 2,000円  
※版や紙、フィルムは各自でご用意ください。

## 地域にひろがる 地域とつながる 市民のアトリエの活動

市民のアトリエでは、美術館内でのさまざまなプログラムの開催とともに、教育機関や福祉施設、近隣企業などと連携し、横浜の街や地域社会と深く関わる活動に継続して取り組んでいます。

今回は、2025年度（令和7年度）に実施した2つのプログラムをご紹介します。

### ● 野外彫刻《風が、かたる…》洗浄・鑑賞体験ワークショップ

横浜の街角には数多くのパブリックアートが点在し、街の象徴として親しまれています。しかし、屋外という厳しい環境にある作品は、日々、潮風や雨、排気ガスなどにさらされています。美術館に隣接するオフィスビル みなとみらいグランドセントラルタワー「帆の広場」に設置された《風が、かたる…》も、歳月を経て表面に汚れが付着していました。

このワークショップでは、みなとみらいグランドセントラルタワー協力のもと《風が、かたる…》作者の細井篤さんと、野外彫刻の保全活動を行う「彫刻みまもり隊みつばち」代表の高嶋直人さんを講師にお迎えし、参加者とともに作品の「洗浄とメンテナンス」に取り組みました。

作業では、表面の汚れを拭き取り、スポンジを使って細部まで丁寧に洗い上げました。作者本人から制作意図や素材の特性を聞きながらの作業は、作品の魅力を知るだけでなく、都市における野外彫刻洗浄の意義や鑑賞のあり方を考える貴重な機会となりました。

ワークショップ中には、通りがかった市民の方々との交流も生まれ、パブリックアートの存在やその保全の大切さを地域に広める場ともなりました。



作業の様子

### ● 高齢者施設訪問ワークショップ

美術館へ足を運ぶことが難しい方々にも、さまざまな出会いを通じて、つくる楽しさや表現する喜びを届けたい。そんな想いから2015年度から横浜国立大学と連携して、市内の高齢者施設を訪問してワークショップを開催しています。

2025年度は、音や映像、動力を用いて、自己と他者、自然と社会の中に共通する「多様性と普遍性」に焦点をあてた作品を発表するアーティストの山田哲平さんを迎え、横浜市西区にある特別養護老人ホーム戸部ハマノ愛生園への訪問に向けて、約一か月前から教育学部の学生14人とともに、企画・検討に取り組みました。山田さんからの提案「感覚の活用」に沿って、学生の皆さんと、ディスカッションやトライアルを繰り返しました。

当日は、「リズム遊び」「触覚クイズ」「目隠し宝探し」など日常とは異なる感覚を伝えあうことでコミュニケーションを深めるプログラムや、山田さんの作品鑑賞を行いました。参加して下さった皆さんの笑顔が溢れる時間となりました。



事前検討の様子

この2つのワークショップをはじめ、これまでの取り組みを紹介する活動レポートは、横浜美術館公式noteにも詳しく掲載しています。ぜひ、あわせてご覧ください。

いつの日か、皆さんがお住まいの地域にもアートをお届けできる日も来るかもしれません！

● 横浜美術館 公式note <https://yokohama-art-museum.note.jp>



ワークショップの様子

## 予告 Live! 横浜2026「みんなのアートひろば」開催

横浜美術館では、「Live! 横浜2026」にあわせて二日間限定で「みんなのアートひろば」を開設します。

子どもも大人も一緒に楽しむワークショップ「歌う♪ばくばく紙工作」では、好きな色紙とはさみをつかって、お口がばくばく動く立体カードをつくりましょう。その他にも、音楽と美術をテーマに横浜美術館のコレクション（所蔵作品）をパネルや映像で紹介するコーナーや休憩できるスペースもご用意しています。どうぞお立ち寄りください。

／ ご参加お待ちしております ／



日程=4/4④・5⑤ 時間=各日11:00-16:00 会場=プロジェクトスペース、ポルティコ  
対象=どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

### 「Live! 横浜」とは…

音楽を中心としたライブエンターテインメントのフェスティバル「Live! 横浜2026」は、民間の大規模イベントと連携しながら、音楽、ダンス、アニメなど、多彩なコンテンツを10会場で一斉展開します。まち全体がライブで躍動する3日間。ぜひご期待ください。

会期=4/3④・4⑤・5⑥

会場=みなとみらい21地区を中心とした都心臨海部

主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

共催：横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

● 詳しくはこちらをご覧ください

公式サイト <https://liveyokohama.jp>



## ● 講師・アーティストの紹介

### ● 赤本 啓護 あかもと・けいご

1985年 東京都生まれ。2013年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻版画コース修了。'16~'19年度 同大学版画研究室助手。自然と都市あるいは生活と環境といった視点をテーマに、銅版、デジタルを組み合わせて平面作品を制作、発表している。

### ● 岩淵 華林 いわぶち・かりん

神奈川県生まれ。2011年 東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域修士課程修了。ギャラリー椿、Der-HornArtGalleryでの個展など、国内外でスクリーンプリントを用いた平面作品を発表。現在、東京造形大学、女子美術大学非常勤講師。  
<https://www.iwabuchikarin.com>

### ● 末永 史尚 すえなが・ふみなお

1974年 山口県生まれ。'99年 東京造形大学造形学部美術学科美術I類卒業。2000年 同研究生修了。'04~'05年 文化庁新進芸術家国内研修員。日常的に目にするものや展示空間に関わるものから視覚的要素を抽出して絵画・立体作品を制作、発表している。近年はワークショップも開催し、多様な人々とのコミュニケーションによる制作の可能性を探求している。現在、東京造形大学教授。  
<https://fuminaosuenaga.com>

### ● 崔 恩知 ちえ・うんじ

1979年 韓国ソウル生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻版画研究領域博士前期課程修了。2015年 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ美術館賞受賞。自然と宇宙の空間をテーマに、人々の人生を、自然現象を通して表現している。  
[https://www.instagram.com/eunji\\_artworks](https://www.instagram.com/eunji_artworks)

### ● 横尾 拓郎 よこお・たくろう

1986年 千葉県生まれ。2019年 メルボルン大学Victorian College of the Arts 版画・ドローイングコースBFA卒業。'24年より東京藝術大学版画研究室リトグラフテクニカルインストラクター。版画的な平面表現・インスタレーションを通して身体と場所、記憶、言語について考え、世界の中の距離や区切りについて痕跡を通して観察し、反復運動を用いて隠れたイメージを表出させることを試みている。  
<https://takuart.net>

### ● 渡辺 達正 わたなべ・たつまさ

1947年 愛知県生まれ。'70年 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。在学中、駒井哲郎指導のもと銅版画制作を始める。卒業後、同大学に勤務し1997年 版画専攻教授に就任する。銅版画の多様な素材と技法を研究し、日本を代表する版画家の一人として様々な技法開発や版画教育に尽力している。現在、多摩美術大学名誉教授、春陽会会員、日本美術家連盟会員。

## 申込方法

ウェブサイトの各プログラムの「申込フォーム」からお申込みください。

- ◎応募者多数の場合は抽選となります。
- ◎一部のプログラムを除き、対象年齢は12歳以上です。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」  
<https://yokohama.art.museum/event>



## ● 申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」（自動返信）をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。  
※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

## ● お問合せ

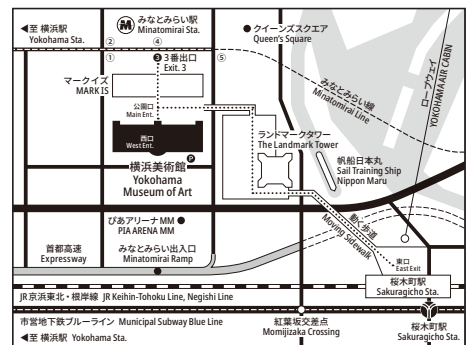
### 横浜美術館 市民のアトリエ

Tel. 045-221-0300  
受付時間 10:00~18:00  
木曜日休館 (4/30、5/7、8/13は開館)  
〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい3-4-1

## ● アクセス

- みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅<3番出口>から、マークイズみなとみらい<グランドギャラリー>経由徒歩3分
- JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から<動く歩道>を利用、徒歩10分
- 駐車場（10:00~21:00、台数157台）最初の90分は500円、以降30分毎に250円  
※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐車場をご利用ください。  
※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引（最初の90分無料）があります。

● 乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →  
<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

● 横浜美術館ウェブサイト →  
<https://yokohama.art.museum>

